

4月度「京都学ラウンジ ミニ講座」(開催報告)

平成30年4月26日
京 都 学 ・ 歴 彩 館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ ミニ講座」を開催しております。この度4月5日(木)～4月26日(木)にかけて「平安時代の文化を考える―平安初期の文化からいわゆる国風文化まで―」と題して、4回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日 時 平成30年 4月5日・12日・19日・26日
いずれも木曜日 13:30～14:00

■ 会 場 京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

■ 参加者数 24名(5日)、26名(12日)、30名(19日)
30名(26日) 合計 110 名

■ 内 容

講師 京都府立京都学・歴彩館 京都学推進課 吉岡直人

「平安時代の文化を考える―平安初期の文化からいわゆる国風文化まで―」(全4回)

第1講 遣唐使の停止と国風文化の成立という言説

第2講 平安時代初期における律令国家の段階と文化

第3講 平安初期の文化の特徴

第4講 いわゆる国風文化をどう考えるか

■ 講座の様子

年度始めということもあり、広報が遅れ参加者の出足が心配されたが、幸いにして各回20名以上の方にご参加いただいた。昨年度来、常連となっている参加者に加え、若年層の参加もみられた。本講座の定着と新たな展開が期待できたという意味において意義深い講座になった。

昨今、学界で活発な議論を呼んでいる平安時代の文化史、特に国風文化論について、最新の研究を参照しつつ講師の見解を説明した。各回とも参加者より質問もあった。質問内容は基礎的事項の確認から、摂関期の国家体制に及び専門的内容まで幅広い質問がだされた。講師も熱を帯び、活発な議論が展開された。各回、興奮冷めやらぬ会場から、満足した表情で帰路につく参加者の姿が印象的であった。

